★ソフトウェアサイエンス研究会（SS）

専門委員長　結縁祥治　副委員長　緒方和博
幹事　小林隆志・鷲崎弘宜　幹事補佐　肥後芳樹

日時　5月11日（月）　13：00～18：00
　　12日（火）　8：45～14：00
会場　熊本大学黒髪南キャンパス工学部研究棟IV 3階会議室（熊本市中央区黒髪2-39-1．http://www.kumamoto-u.ac.jp/campusjouhou/map_kurokami_2）
議題　一般，研究スタートアップ
平成26年度　ソフトウェアサイエンス研究奨励賞表彰式
11日　研究スタートアップ（1）
1. 小規模組み込みシステムにおけるFRPの応用に向けて　○澤田賢祐・鈴木康平・渡部卓雄（東工大）
2. ハイブリッドプロセス計算を用いたスーパーバイザ合成について　○川北悠人・結縁祥治（名大）
3. 二重値付き時間オートマトンを用いた非停止スケジューリングの最適平均利得計算の実現
　○平岡　祥・結縁祥治（名大）

依頼講演（1）
4. 量的情報流と差分プライバシ（チュートリアル）　関　浩之（名大）

研究スタートアップ（2）
5. Hardware Description Languageにおけるコードクローンのパターン分類
　○上村恭平・藤原賢二・飯田　元（奈良先端大）
6. 自然言語処理技術Word2Vecを用いたソフトウェアリポジトリマイニング手法の提案
　○内山武尊・神谷年洋（公立はこだて未来大）
7. マルチプロセッサ環境で動作する組込みソフトウェアの拡張時間ペトリネットによるモデル化及び性能検証
　○中村貴史・中田明夫（広島市大）

依頼講演（2）
8. ソフトウェアにおける全体論と還元論　鰺坂恒夫（和歌山大）

12日午前　一般セッション（1）
1. パターンマイニング技術を用いたC言語プログラムからのコーディングパターン抽出
　○中村勇太・崔　恩瀞（阪大）・吉田則裕（名大）・春名修介・井上克郎（阪大）
2. 再利用に基づく自動バグ修正における再利用候補の絞込に向けた調査
　○横山晴樹・大田崇史・堀田圭佑・肥後芳樹（阪大）・岡野浩三（信州大）・楠本真二（阪大）
3. バグ報告の重複検出における単語数が判別精度に与える影響　○鶴田晶大・眞鍋雄貴・有次正義（熊本大）
4. Linuxディストリビューションにおけるパッチの適用過程の復元に向けて
　○金　勇・藤原賢二・飯田　元（奈良先端大）

依頼講演（3）
5. 不確かさを包容するソフトウェア工学　鵜林尚靖（九大）

12日午後　一般セッション（2）
6. Query-Based l-Diversity
　○Chittaphone Phonharath（NAIST）・Ryunosuke Takayama・Kenji Hashimoto・Hiroyuki Seki（Nagoya Univ.）
7. モデル計数を用いたXMLデータベースのk-安全性検査　○浅井孝俊・橋本健二・関　浩之（名大）

☆SS研究会今後の予定　〔　〕内発表申込締切日
　7月22日（水）～24日（金）　札幌市教育文化会館〔未定〕テーマ：一般

【発表申込先】　下記研究会発表申込システムからお申込み下さい．
　http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】
小林隆志（東工大）
TEL〔03〕5734-3471
FAX〔03〕5743-3471
E-mail：tkobaya@cs.titech.ac.jp

◎最新の情報はSIGSS研究会ホームページで御確認下さい．
　http://www.sa.cs.titech.ac.jp/sigss/